

令和4年度第1回 鶴岡市学校給食センター運営委員会

日時：令和4年7月26日（火）午後3時～

場所：学校給食センター 2階会議室

1. 開会 （所長補佐）

2. あいさつ （布川教育長）

3. 委員長、副委員長の選出

委員長・・・後藤久美 委員（京田小学校PTA副会長）

副委員長・・・奥田満哉 委員（大泉小学校長）

4. 報告 （議長 後藤委員長）

報告第1号：鶴岡市学校給食センター施行規則の改正について（資料により説明）

質問・意見なし

報告第2号：令和3年度鶴岡市学校給食センター運営状況について（資料により説明）

委員：2点ほど質問がございます。

1つ目は、栄養摂取等の状況について、小学校では食物繊維、中学校ではカルシウムや鉄、ビタミンCが基準に満たないという課題があると思います。不足分を増やすことが必要だと思いますが、基準に達していないと問題はあるのでしょうか。

2点目は地産地消についてですが、地場産の割合が魚介類では28.8%と前年度比で9.3%減少していますが、こういったことが原因でしょうか。

栄養教諭：1点目のご質問についてですが、国で定める「学校給食摂取基準」を目標に献立を作成していますが、地域によって子どもたちの体の大きさが違うことなどにより必要摂取量は全国一律ではないので、国でも地域ごとに柔軟な対応を行ってよいとの通知がされています。

お示した表は全国統一の基準と比較して過不足分がわかるようにしたものであり、子どもたちの志向や給食の量、食器の大きさなど、献立作成に制限される要素が様々あることから、数値だけをクリアすることはなかなか難しい状況ではありますが、摂取基準にできるだけ近づくよう進めている状況です。

2点目の魚介類の使用量に関するご質問ですが、昨年度はコロナの感染拡大により食材が余るなどしたため、県などよりイカ、タイ、カンパチなど地場産魚介類の無償提供があ

ったことから、一昨年より使用率が上がったという状況にありました。そのため、通常の使用量に戻った令和3年度では一昨年度からの反動により減少した数字となっています。

あわせて、地場産の漁獲量が減少したため単価が上がり、給食食材として使いづらくなっていることも地場産割合が減少している要因にもなっています。

報告第3号：令和4年度鶴岡市学校給食センターの運営方針について（資料により説明）

質問・意見なし

報告第4号：学校給食費物価高騰対策事業について（資料により説明）

質問・意見なし

5. 意見交換（議長 後藤委員長）

学校給食センター整備基本構想の骨子について（資料により説明）

委員：新しい施設を作るということですが、建設場所は決まっていますか。

所長：現在のところは特定の場所は選定していない状況です。今後の人口推計を考えた時に、センターが1つに統合されたとしても各地域に提供できるよう、交通の便が良く、2時間喫食が可能となる配送エリアを前提として、場所を決定していきたいと考えています。

個人的な意見になりますが、現センターがある白山地区は、温海地域への配送を想定すると高速道路へのアクセスも良いですし、東部の藤島地域、南部の朝日地域への配送を想定しても、交通事情という点ではよい場所であると考えています。

委員：櫛引センターもかなり築年数が経っていると思います。子どもによりよい食器で給食を提供したいという話が出て、食器洗浄機の都合で導入が出来ないというようなお話も聞いています。

今の説明ではいずれは1つのセンターから市全域に提供するとお聞きしましたが、その時期がいつぐらいになるのか、具体的なお話があれば教えてください。

所長：具体的な時期は決まっておりませんが、今後の人口減少を見据え、今まで行ってきたそれぞれのセンター地域特性を生かした活動をしてきたということを踏まえ、段階的な集約等も視野にいれながら検討を進めていきます。

議長：鶴岡センターから1番遠いのは温海地域になるのですか。だとすると配送時間は1時間ぐらいを想定しているのでしょうか。

所長：現状では、距離的には鼠ヶ関小学校が1番遠くなっています。温海地域の北側までは高速道路が繋がっておりますが、将来、鼠ヶ関まで繋がっていけば時間的には短縮されるものと考えています。

委員：今のお話しからすると、ここ2、3年で整備されないことがわかりましたが、屋根の腐食等の現状を見ると喫緊の建設が必要なのではないかと思えます。

建設までの間に、どこに建てるのか、配送をどうするのかなどの課題はありますが、現場の意見としては、お盆やはしは配送されるようになるのか、「今日は学校行事があるので30分早く配送してくれ」ということにも対応してもらっているがそれが出来なくなるのかなど、細かい課題も出てくると思います。大小の問題もたくさん出てくると思うので、今後、進捗状況を学校と共有していただきたいと思っています。

運営委員会だけではなくて、アンケートなどでいろいろな学校からの意見を聞いていただけたらみんなが理想とする給食センターができるのではないかと思います。

予算の確保やPFIなどもあって大変だとは思いますが、なるべく早い完成を願っています。

所長：建設にあたっては10年かかるということはないとは思いますが、少しでも早い建設を目指してまいりたいと考えております。建設にあたっては、現在はまだ大枠での考え方になっており、細かい課題についてはこれから進めていきますので、折りを見て、学校関係者への情報共有を検討させていただき、できるところから対応していくように心がけてまいりたいと思います。

委員：私は、昨年度までは櫛引の給食をいただき、今年からは温海の給食をいただいています。どこの地域の給食もおいしくそれぞれの良さがあり、献立を工夫してくれていると感じています。

長い時間をかけて構想を作っていくことになりますが、それぞれの地域の持ち味を残すということではいろいろな人の意見を聞いていただくようお願いします。

5. その他

なし

(閉 会)